

東日本大震災の復興まちづくり支援に関するアピール（2012. 6. 30）

東日本大震災・原発事故の被災地は、被害があまりにも甚大・深刻であるだけでなく、地域によって事情やニーズが異なる上、生活再建に関する課題も山積している。

こうした数々の難題を乗り越え、復興まちづくりに向けた歩みを進めるためには、被災者が主体となって取り組むことが第一である。そのためには、被災者の自発力、行政のサポートや制度の整備、及び専門家やボランティア等とのつながりが不可欠である。

私たちは、被災地の復興まちづくりを支援するため、被災地の方々と、市民、行政、自治体職員、ボランティア、各分野の研究者・実務家などが協働し、全国の人・知恵・情報がつながり合ったネットワークを広げ、息長く支援していくことを決意した。

今日この兵庫の地で、この旨をアピールする。

2012年（平成24年）6月30日

震災復興支援シンポジウム参加者一同